

第4回 川崎市バス事業経営問題検討会

平成20年7月8日(火) 10時00分

川崎市産業振興会館 第2研修室

資料1 今後の収支見通し(経営改善策の反映等)

資料2 その他想定される経営改善策



市バスイメージキャラクター 「かわさきノルフィン」

川崎市交通局

目 次

1 今後の収支見通し（経営改善策の反映等）	1
収支見通しに反映した項目	
乗車料収益の増	2
営業所の管理委託	3
路線の委譲	4
2 その他想定される経営改善策	5

今後の収支見通し(経営改善策の反映等)

1 期間 平成21年度～25年度

2 前提 平成20年度予算を基に見込む。

		【参考】H20.6.6 第3回検討会提示 収支見通し	案1	案2
収入	料金収入	乗車人員の実績及び特別乗車証の見直しを勘案して算定する。	過去の実績を踏まえて増収を見込んだ。	同左
	高齢者フリーパス	-	過去の実績と高齢者人口の伸びを踏まえて増収を見込んだ。	同左
	一般会計繰入金	現行の繰入金が継続するものとして算定する。	現行の繰入金が継続するものとして算定する。	同左
支出	人件費	退職動向と現行サービスの維持に必要な人員を基本に、給与の見直し、昇給、改定等を見込む。	退職動向と現行サービスの維持に必要な人員を基本に、給与の見直し、昇給、改定等を見込む。	100人規模の管理委託と15人規模の路線委譲を行う場合の人件費を退職動向、給与の見直し、昇給、改定等を踏まえて見込んだ。
	経費	燃料費の高騰及び物価上昇を見込む。	直近の調達価格を踏まえ燃料費の一層の高騰を反映させるなど、経費全般に物価上昇を見込む。	同左
	その他	減価償却費、支払利息等は所要額を計上する。	減価償却費、支払利息等は所要額を計上する。	同左

3 収支見通し(税抜き)

(単位:百万円)

		【参考】H20.6.6 第3回検討会提示 収支見通し					案1					案2				
		H21	H22	H23	H24	H25	H21	H22	H23	H24	H25	H21	H22	H23	H24	H25
収益的 収入	営業収益	7,693	7,726	7,758	7,790	7,824	7,738	7,795	7,835	7,875	7,916	7,738	7,795	7,835	7,875	7,916
	うち運輸収益	7,485	7,519	7,551	7,583	7,617	7,531	7,588	7,628	7,668	7,709	7,531	7,588	7,628	7,668	7,709
	営業外収益	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436
	うち一般会計繰入金	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301
	特別利益	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	計	9,130	9,164	9,195	9,228	9,262	9,176	9,232	9,272	9,313	9,354	9,176	9,232	9,272	9,313	9,354
支出	営業費用	9,431	9,551	9,357	9,218	9,304	9,490	9,632	9,454	9,300	9,398	9,490	9,594	9,170	9,194	9,288
	うち退職給与金	575	675	379	258	481	575	675	379	258	481	575	675	379	258	481
	営業外費用	95	98	102	101	91	95	98	102	101	91	95	98	102	101	91
	特別損失	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	計	9,529	9,653	9,463	9,323	9,399	9,589	9,734	9,560	9,405	9,492	9,589	9,697	9,276	9,299	9,383
純損益	399	489	267	95	137	413	502	288	92	138	413	464	4	14	29	
資金不足額	237	798	1,132	1,341	1,769	251	825	1,179	1,385	1,815	251	787	857	956	1,277	

表示単位未満四捨五入のため計数が一致しない場合がある。

収支見通しに反映した主な項目

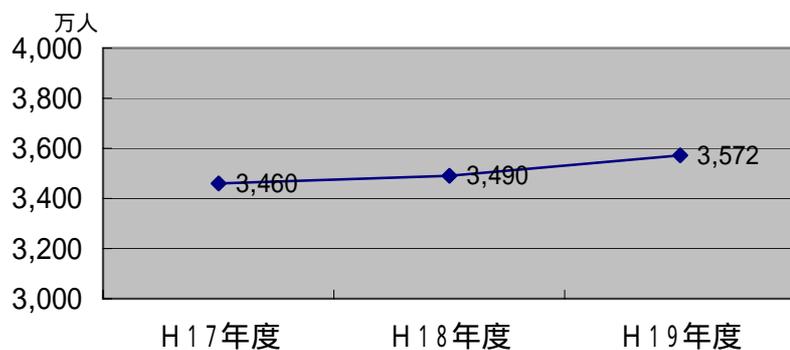
1 乗車料収益の増

(1) 現状

乗車人員及び乗車料収益について、平成17年度以降微増傾向にある。

(* 高齢者外出支援乗車事業、市バス特別乗車証及び貸切事業分を除く)

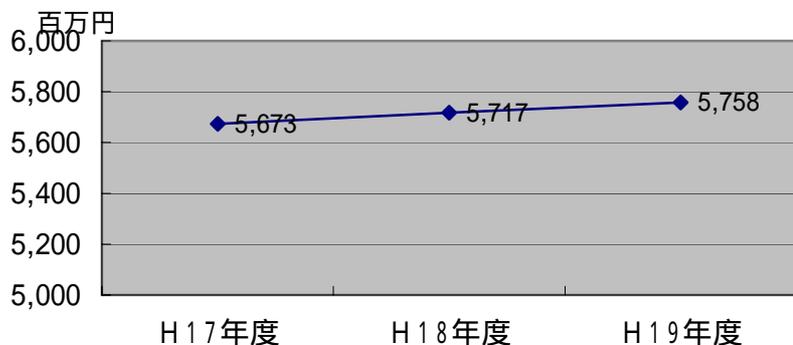
乗車人員



	H17年度	H18年度	H19年度	H17 19
乗車人員	3,460	3,490	3,572	-
比較増 減	-	30	82	112
伸び率	-	0.9%	2.3%	3.2%

平均伸び率1.6%

乗車料収益



	H17年度	H18年度	H19年度	H17 19
乗車料収益	5,673	5,717	5,758	-
比較増 減	-	44	41	85
伸び率	-	0.8%	0.7%	1.5%

平均伸び率0.75%

2 その他増収要素

- 駅前広場や都市計画道路の整備
- 大規模マンションの建設等
- 臨海部の活性化
- 企業との連携によるエコ通勤
- ラッピングバスの増車
- 乗車券制度の改善

2 営業所の管理委託

項目	内容
(1) ニュー・ステージプランの取組	平成 19 年度及び 20 年度の 2 箇年で段階的に上平間営業所の管理委託を実施
(2) 効果	乗務員等退職者不補充や市長部局への出向により、計画どおり職員数を削減 ただし、乗務員の一部局内配転等により、委託効果（試算）は全て発生してはいない
(3) 管理委託の要件緩和	平成 20 年 2 月から、管理の受委託について安全に関する一定の制限のもと要件が緩和されており、委託範囲が車両数等の 1/2 から 2/3 に拡大
(4) 管理委託計画	収支が悪く、かつキロ当り損益、営業係数が悪い営業所乗務員の退職者の推移と余剰人員対策 実施期間は 2～3 年程度
(5) 課題	余剰人員対策 委託管理業務量の増加 受託事業者の職員採用 運行管理の徹底 安全運行の確保 お客様サービス水準の維持・向上

（参考）市バス営業所の現状

営業所	車両数 (両)	正規乗務員数(人)				収支見込 (百万円)	キロ当 り損益 (円)	営業 係数
		乗務員	事務 技術	その他	計			
塩浜	96	176	23	4	203	525	137.0	133.0
井田	61	113	20	3	136	337	146.6	132.8
鷲ヶ峰	90	159	23	2	184	43	11.9	107.8

* 営業所の体制は平成 20 年 4 月現在

* 収支見込等は平成 19 年度見込み

3 路線の委譲

項目	内容
(2) ニュー・ステージプランの取組	平成 18 年度に、2 路線を競合する民営バス事業者に委譲
(2) 効果	乗務員の退職動向に合わせて 2 路線を委譲し、職員数の削減と収支の改善
(3) 委譲路線の条件	<p>直営路線の中で収支が悪く、かつキロ当たり損益、営業係数が悪い路線</p> <p>民営バス事業者の路線と競合率が高く、輸送分担率が低い路線</p> <p>民営バス事業者の路線と起終点が同じか、ほぼ同じ路線</p> <p>乗務員の退職動向に見合った規模の路線</p>
(4) 課題	<p>余剰人員対策</p> <p>委譲先の職員採用計画</p> <p>市バスのネットワークと改善効果</p>

(参考) 乗務員の退職者の推移

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
定年退職	12	9	12	10	4	11
普通退職	3	3	3	3	3	3
計	15	12	15	13	7	14

その他想定される経営改善策

1 人件費の削減

- (1) 初任給基準の見直し（新規採用職員の初任給基準の引下げ）
- (2) 特殊勤務手当の見直し（中休手当の廃止）
- (3) 経営状況等を勘案した人件費の見直し
- (4) 嘱託職員の活用（短時間運転手等の活用）
- (5) 本局管理部門の業務委託化

2 経費の削減

- (1) 委託業務全般の見直し（外注誘導業務等）
- (2) 建設改良費の削減（広告付上屋の拡充による通常上屋整備の削減）
- (3) 契約方法の見直し